

# JA BANK

JA広島信連での  
14000日を  
あなたはどのよう  
にごすごすの  
だろう





農業・地域とともに歩んで70年。  
私たちは、広島の大地に根差した  
農協系統の金融機関です。

社会への旅立ちを間近に控えた皆さまへ

私たちJA広島信連にご関心をお持ちいただき、ありがとうございます。私たちは日本の食を支え続ける農協系統の金融機関として、広島県の多くの農家の方々の暮らしとともに歩んできました。70年の歴史の中でたくさんのお客さま、地域の方々、そして仲間たちと出会い、成長を続けてきました。広島の大地を舞台にした農業や暮らしを、スタッフみんなで支えている、暖かい

金融機関です。

私たちは人と人とのつながりの大切さを知っています。あなたがJA広島信連に入会することで、また新しいつながりが誕生し、広島未来を支える新しい力になってくれることを、楽しみに待っています。

まずは、先輩たちの生活やJA広島信連のことを少しでもご理解いただき、あなたが過ごす14000日を思い描いてみてください。





# JAグループの概要

JAグループは、農家組合員をはじめとする組合員組織を基盤に、市町段階のJA、都道府県・全国段階の連合会組織で構成されています。それぞれが機能分担のもと、貯金や貸出などの業務を行う「信用事業」のほか、農産物の生産性・品質向上支援などを行なっています。

## JAグループとは

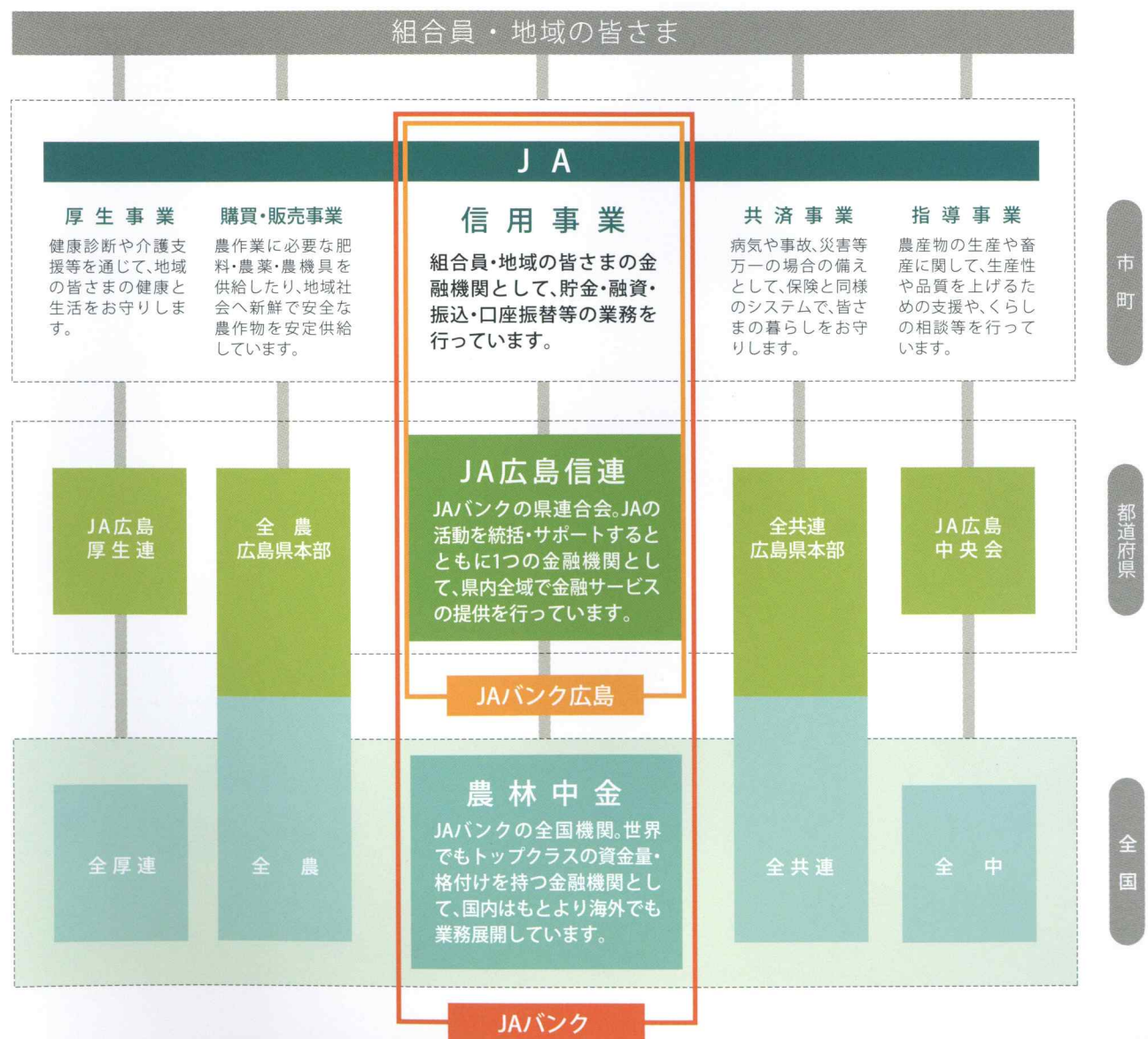
「指導事業」、生産資材などの購買や農産物の販売を行う「購買・販売事業」、病気や事故など万が一の場合の備えとしての「共済事業」、健康診断等を通じて地域の皆さまの健康と生活を守る「厚生事業」など、様々な事業を展開しています。

## JAバンクとは

JAグループの信用事業は、市町段階のJA、都道府県段階の「信連」、全国段階の「農林中央金庫」で構成されています。そして、これら信用事業の構成グループ（JA・信連・農林中央金庫）の総称が「JAバンク」です。

JAバンクは全国に民間最大級の店舗網を展開しており、グループ全体のネットワークと総合力で地域の皆さまの、より身近で便利、そして安心なメインバンクになることを目指しています。

### < JAグループ組織図 >



※農業協同組合運動とは・・・自主的に結びついた農業者(組合員)が民主的に管理する事業体であるJAを通じて、相互扶助の精神のもと、経済的・社会的・文化的に共通して必要とするものや願いを満すための取組みをいいます。

# JA 広島信連の概要

正式名称は「広島県信用農業協同組合連合会」ですが、地域の皆さまからは「JA広島信連」の愛称で親しまれています。

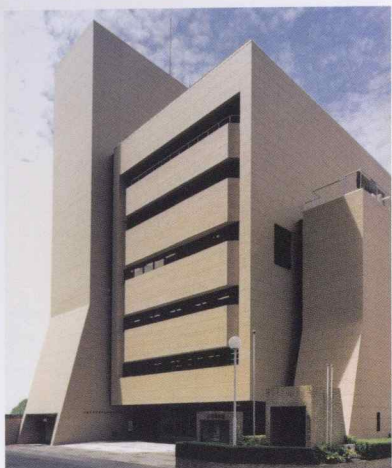
右ページの組織図からも、JAグループ・JAバンクの一員として、県内JAとともに「JAバンク広島」を構成し、その中で県段階の連合会組織として、JAバンク広島の事業

活動を統括・サポートしているのがわれわれJA広島信連です。言い換えれば、県内JAにおける信用事業(金融業務)の県域本店機能としての役割を担っています。

そのため、当会は一般の金融機関のような支店や個人向けの窓口こそ持っていませんが、県内JAの窓口で預けられた組合員・地域の

皆さまの貯金は、JAを通じて当会に預けられます。その資金量は、約2兆円にものぼり、地方銀行にも匹敵するスケールを誇っています。

当会業務については、貯金や貸出・為替業務・有価証券運用など一般の金融業務全般はもちろんのこと、県内JAに対するサポート業務として、金融知識等の研修業務、金融法務・税務等に関する相談業務、キャンペーンや金融商品の企画のほかPR活動なども行っています。県内JAと一体となって、健全で信頼性の高いJAバンク広島を目指しています。



JA広島信連本所ビル

# JAバンク広島のネットワーク

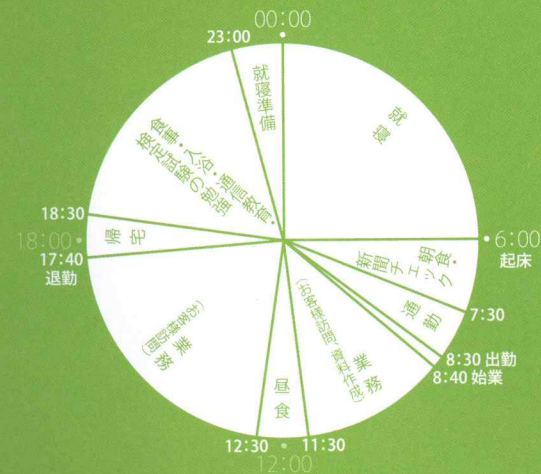




# 私の1日

地場企業から全国企業まで、県内に事業所がある企業や農業法人等を対象に融資を行う部署なので、お客さま訪問と資料作成作業が半々くらいでしょうか。集金業務がないため、他の金融機関よりも内部での作業が多いと思います。

当会は、広島県の農家組合員や農業・地域経済の発展に貢献することを使命としています。定期訪問時には資金面だけでなく、当会の取引先を紹介するビジネスマッチングや店舗出店のための土地情報の紹介なども行っています。担当する企業から信頼され、後輩の見本となれるよう、日々の情報収集や勉強は欠かせません。



## 帰宅から就寝までの過ごし方

クラブ活動の練習、上司や先輩方との飲み会があるときはそちらに参加。それ以外の日は勉強をしています。銀行業務検定の財務2級は取得したので、現在は法務・税務2級の合格を目指しています。休日は友人とドライブで観光農場に行ったりと、公私ともに充実した日々を送っています。



## 春から秋は野球の練習と試合で汗を流す

中学生より野球をしていたので、入会後、軟式野球部に入部。現在は、ピッチャーをしています。練習は、4月から9月の毎週土曜日。半日かけてみっちりやります。試合は、大会参加も含めて、月に1、2回。厳しい練習があるものの、どちらかといえば勝敗にこだわらず、野球を楽しむチームで、練習や試合が終わった後の一杯も楽しみのひとつです。

## 残業が少ない職場でプライベートも充実

繁忙期以外は残業が少ないので、平日のプライベートも充実しています。仕事が終わった後、時に先輩と一緒に飲みに行き、話を聞いたり、相談に乗ってもらっています。また、学生時代の友人とゆつくり語りあう時間を持てるのも、ストレス解消につながっています。友人とは、互いの仕事や近況についての話題が多いのですが、そろそろ結婚を考える友人も出てきました。仕事だけでなく、自身の将来についても色々と考えていきたいな

い年齢になったのかなと感じる今日この頃です。

平日の先輩や友人との予定がない日や休日には、検定試験・通信教育の勉強をしたりしますが、それ以外は、のんびりとした時間を過ごしています。元々旅行が好きだったので、最近では、同期の仲間達と旅行する機会が増えました。大阪から福岡までの近場で、ぐらり旅を楽しんでいます。何でも相談できる、気兼ねない同期と出掛けること、美味しい物を食べること、部活で汗を流すことで、気分をリフレッシュ。新たな気持ちで仕事に取り組んでいます。

久野 順平  
(総合職コース)  
<平成26年度入会>  
営業部営業課

地元広島を応援する  
今の仕事に誇りとやりがいを感じています。



## 地元広島で、自らも成長できる職場それがJA広島信連でした。

以前から投資に興味を持っていたこと、大学では経営を専攻し、ゼミで企業のコンサルティングを行ったことから、経営に貢献できる金融機関への就職を希望していました。JA広島信連との出会いは、就職活動中。実は、それまで名前すら知らなかったのです。資料を見ると、金融機関なのに本店のみで支店がない、業務が特殊と、他金融機関とは異なる点に興味を持ちました。そして、決めたことになったのは、少数精鋭でさまざまな業務を経験できそうだと感じたことでしょうか。ここなら自らが成長できると思い、入会を決めました。

実際に働き始めて、当会はアットホームな職場で面倒見の良い先輩が多いと感じています。いきなり担当先を持つたので、正直なところ「しんどいだろうな」と思ったのですが、OJTで私に付いた先輩が半年間、それこそ手取り足取り教えてくれました。また、夜の飲み会にも誘ってくれ、公私にわたって私を気遣い、励ましてくれたように思います。

現在の業務は、県内13JAからお預かりした資金を元に、企業に対して融資を行う営業部営業課で法人融資を担当。取引先や新規先を定期的に訪問して資金需要の把握に努めることや、当会の取引先を紹介するビジネスマッチングなども行っています。

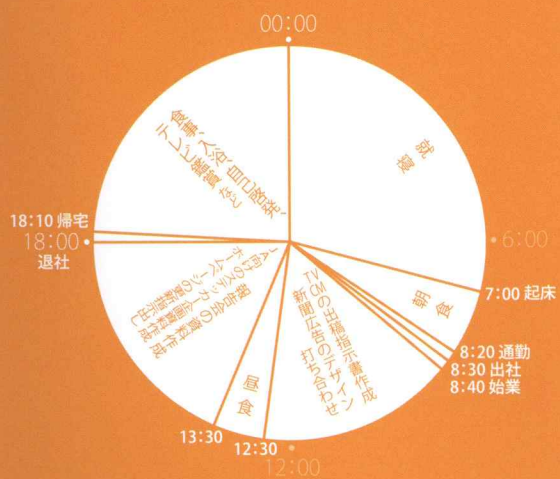
キャリアに関係なく、若手にも個人の裁量がある点は、この部署ならではです。融資案件は、資金を出す必要性や、リスク度合い、収益性等についてきちんと理論つけて説明できるのももちろんのこと、担当者がどれだけ熱意を持って取り組んでいるのかも重要となってきます。

・お客さまである企業のことを一番知っているのは担当者。という考えが根底にあり、その担当者がこれだけ熱意を持っているのだから、やらせてみようとなるわけです。やりがいを感ずる反面、自分の未熟さを痛感することも多々あります。現在の自分は、採点すると50点くらいでしょうか。専門的な知識やお客さまに紹介できる取引先を増やすことが課題です。



# 私の1日

CMでご覧になった人も多いかと思いますが、「ちょりス」でおなじみ、貯金キャンペーンのPRなどを主に担当しています。具体的には、新聞等への広告掲載、テレビやラジオCMの出稿、ホームページの更新など。机上での業務が新聞やテレビ、ラジオのCMという形になるので、とてもやりがいを感じています。先輩たちに色々なことを教えていただきながら、日々、勉強中です。それぞれ異なる納期がある仕事を段取りよく、ミスすることなく終わらせていくことが今後の課題です。



## 帰宅から就寝までの過ごし方

私は寮に住んでいますが、同期の女性2人が一緒なので、日用品の貸し借りを行うなど楽しく生活しています。自由時間にはテレビを見たり、雑誌を読んだりしていますが、PR担当になってからは広告、特に他金融機関の広告は熱心に見たり、読むようになりました。



## クラブ活動で他部署の方との交流を楽しむ

JA広島信連はクラブ活動が盛んです。特に野球部は強豪で、大会によっては希望者を募り、各地へ応援に出かけることもあります。現在、私が所属しているクラブは、バドミントンとテニス。バドミントンは平日が練習日のため、残念ながらなかなか参加できません。一方、テニスはほとんど毎週土曜日に練習があるので参加しています。ラケットを握るのは中学生以来ですが、

普段あまり接する機会がない他部署の方々と会えることもあり、楽しんで参加しています。

## ホットヨガと友人との外出で心も体もリフレッシュ

仕事柄、忙しいこともありませんが、寝たら忘れるタイプなので、平日は、帰宅したらしっかりと睡眠をとるよう心がけています。当会は寮社宅が完備されており、私は徒歩約5分の距離にある寮で、入会以来、同期と一緒に生活。通勤時間が短い

ので助かっています。クラブの練習がない日や日曜日は、友人とドライブで遠出をしたり、買い物に出かけています。デスクワークが多いことから運動不足を感じ、1年程前からホットヨガも始めました。体を動かすと、ストレスが解消されるだけでなく、達成感も得られるため、これからも長く続けていきたいと思っています。休日ものんびりと過ごすのではなく、アクティブに活動することで、月曜日から気持ちも新たに、また頑張ろうという気持ちになります。

本計 美佳子  
(一般職コース)  
<平成24年度入会>  
JAバンク推進部総合企画課

JA広島信連は私を大人へと成長させてくれる場です。



「JAっていいな」と思ってもらえるPRを目指しています。

高校卒業まで安芸太田町に住んでいたため、農業は身近な存在でした。また、大学時代に学んだことを活かしたいと考えていたところ、JA広島信連を知り、説明会に出かけました。そのとき、JA広島信連の仕事は「JAを支援する」という話を聞き、県内の農業の発展と自分の専攻を活かせると思い、入会を希望しました。現在離れて暮らしている両親も、農業に関連する仕事を選び、入会したことをとても喜んでくれました。

入会当初は、社会人として仕事に取り組み姿勢に悩みました。特にキャンペーンの業務は、新聞社やテレビ・ラジオ局の入稿日、キャンペーングッズ納品の期日など、絶対に守らなければいけないものが次々とやってきます。それができなければ、JAをはじめさまざまな方面に迷惑がかかります。また、色々な方と作業を進める中で、正しく伝えたいつもりがうまく伝わっていないと作業そのものが立ち行かなくなります。学生時代にアルバイトの経験

があるので、自分なりに責任を持って仕事に取り組みたいつもりでしたが、社会人はもっと深く広く考えて仕事に取り組む必要があることに気づきました。考えが浅く、甘かった自分を悔やみました。甘さに気づいてからは、社会人として必要なことが書かれている本を読んだり、意識して業務に取り組みよう心がけました。また、職場の雰囲気も良く、上司が声をかけてくれたり、先輩やインストラクターも気にかけてくれたりなど周りに支えられたおかげで、少しずつ成長できたように思います。

今では先輩ができて、今度は教える立場となりましたが、業務を円滑に進めるためにどうしたらよいか悩むときがまだまだあります。これからも現状に満足することなく努力を重ね、地域の皆様に「JAはいいなあ」と思ってもらえるようなPRを、そしてJAの職員の方々が「本計さんが企画したキャンペーンならやってみたい」と思ってもらえるような存在になることが夢です。



様々な経験が待っている

スキルを活かす環境



窓口業務

営業部営業課

神岡 希

(一般職コース)  
<平成28年度入会>

学生時代から金融や農業協同組合の活動に興味があったので、金融業界を中心に就職活動を行いました。その中で当会を知り、広島県内全域に信用事業を通じて貢献できると考え、入会。広島市中区大手町のJAビル内の窓口でお客さまの入金、振込などの処理を行っています。通帳を返却したお客さまから「ありがとうございます」と

声をかけられたとき、やりがいを感じます。  
入会前は、仕事柄堅い雰囲気職員が多いイメージでしたが、気さくで、後輩を気遣ってくれる優しい先輩ばかり。働きやすい環境だと思います。学ばなければいけないことはまだまだありますが、お客さまのさまざまな問い合わせに答えられるよう、より知識を深めていきたいです。



JAサポート業務

融資センター融資推進課

上田 優希

(総合職コース)  
<平成27年度入会>

県外の大学で地域創生について学んでいたため、地元広島に戻り、地域に貢献ができる仕事をしたいと思っていました。当会は地域に密着している協同組織金融機関で、幅広い世代に親しまれている「JA」をサポートする仕事。そして福利厚生が充実していて、結婚や出産後も仕事を続けられる点にも魅力、入会を決めました。

現在は、JAが取扱う融資のPR業務や融資推進のサポートを行っています。若いときから責任のある仕事を任せてもらえる機会も多いので、大変な一方やりがいを感じます。  
今後は業務に関する知識をさらに深めると共に、各JA、そして当会の職員の方に信頼を寄せられる職員になりたいと思っています。



JAサポート業務

JAバンク推進部推進指導課

新田 一希

(総合職コース)  
<平成24年度入会>

現在、県内JAの貯金伸長に向け、それぞれの特性に応じた取組みの企画・提案や分析資料の作成・提案、渉外担当者の同行支援などのサポートを行っています。自分が作成した資料を各JAに提案するのですが、納得いただけるものを作成するのは難しく、まだまだ努力が必要だと痛感させられます。それだけに、「助かったな」などの

ことをいただいた時の喜びは格別です。  
当会は20代の職員が多く、入会後すぐにさまざまな業務に携われるのが魅力。若手から中堅へと立場が変わっていく中、決められた業務をこなすだけでなく、自ら考えて形にし、行動に移せる力を養っていき、13JAのために動ける人間でありたいと思っています。

JAグループの中で  
地域に根ざした信用事業に  
あなたのスキルが活かされます。

JAサポート  
業務

JAの経営に関する指導から職員の研修、各種相談受付まで幅広いかたちでサポート。新商品・新サービスの開発やPR活動、JAの貯金・貸出・決済業務の推進支援。



為替  
業務

JA窓口で受け付けられた振込、自動振替、料金収納などの手続きを集中処理。

融資  
業務

農業関連団体向けおよび法人融資など。

JA  
広島信連  
業務内容

証券運用  
業務

有価証券投資等により効率的に運用。

貯金  
業務

JAからの貯金の受け入れや当会窓口での貯金の受け入れ。





JAを支える力になる

スキルが磨かれる環境



システム関連業務

(株)広島県農協情報センター



為替業務

事務集中部事務集中課



証券運用業務

資金証券部証券管理課

石岡 遼

(総合職コース)

<平成23年度入会>

県内JAおよびJAグループの各組織からの情報処理システムの受託業務や情報処理システムの研究・開発を行う「広島県農協情報センター」のシステム運用指導部に所属しています。県独自のネットワークである統合ネットワークのほかATM等の信用系端末機器の維持・管理業務、システムの導入・推進業務も兼ねて担当しています。

システムの新規作成の開発設計に参加し、実際に稼働し始めたときや対外的に評価されていると知ったときは、「この仕事をやっていてよかった」と感じました。新システムを考察し、JAへ提供することでの仕事は、やりがいがあります。今後は、社内業務効率化を図る機能構築などに取り組みたいと思います。

森下 晃帆

(一般職コース)

<平成24年度入会>

県内JAの為替事務センター！手形センターの運営を通じて、口座振替や給与振込、また県や国に納めるお金の取りまとめを行う部署で5年目を迎えます。稀にしか起こらないような異例処理やJAからの問い合わせが無事に解決したときにやりがいを感じるの、何年経っても変わりません。

イメージを持つ方も多いかと思いますが、当会は、面倒見の良い優しい先輩が多く、わからない点は気軽に聞ける雰囲気があります。また、チーム一丸となって、助け合いながら働ける組織です。かつて先輩に支えられたように、今度は先輩として、後輩が円滑に業務を進められるよう、しっかりとサポートしていきたいと思っています。

近藤 辰郎

(総合職コース)

<平成28年度入会>

大学在学中に農業体験をしたことから、TPPや農業に興味を持ち、地域経済の発展に多面的に貢献できる点に魅力を感じて当会を選びました。資金証券部は、JAから預かった貯金を国債や株式といった有価証券投資や農林中央金庫への預金で運用する部署で、現在はJAからの国債、投信窓販に関する相談業務や事務処理を

担当しています。取り扱う金額が大きく、幅広い知識や情報を求められるため、正直プレッシャーもあります。それだけに、問い合わせに正確に回答できたときの達成感は何物にも代えがたいものです。これからも、問い合わせに対して迅速かつ正確に対応できるよう、日々努力を重ね、業務知識を身につけていきたいと思っています。

様々な部署での  
様々な経験が

あなたのスキルを磨いてくれます。

## 部門紹介

### JAバンク推進部

広島県内のJAの経営に関する指導・アドバイスをはじめ、JA単体では困難な県単位のキャンペーンやイベントなどの企画・立案・PR活動さらには貯金業務などに携わるJA職員に対する研修も実施。また貯金業務に関連した法務・税務など各種相談業務も行っていきます。

### 営業部

資金の一部を運用する部門です。農業関連企業や地元企業に融資を行い、資金面から農業・地域経済の振興支援を行っています。また、農業関連企業や融資先などの法人を中心とした窓口業務を行っています。

### リスク管理室

資金証券部、営業部などの資金運用セクションが業務を行うに当たり、そのリスク許容度が妥当なものであるのか、当会が耐えられるものなのかを精査し、管理する部門です。

### 融資センター

JA、JA広島信連、広島県農業信用基金協会の3者で運営される部門です。実際に融資を行う部署でなく、広島県内の各JAが実施する融資業務の推進のために、融資商品の企画・開発をはじめ、各JAの融資部門に対する指導サポート、融資担当職員に対する研修や法務相談などを担当します。

### 資金証券部

資金の一部を運用する部門です。債券、株式など有価証券への投資による証券運用とJAバンクの全国組織である農林中央金庫への預金という二つの運用を行っています。投機的な売買が目的でなく、あくまでも安定的な収益確保を前提としています。

### 総務部

総会・経営管理委員会、理事会の段取りや、人事・採用、教育研修、役員の秘書業務などのほか、他部署の業務が円滑に進められるための環境整備を行う役割も担います。

### 事務集中部

広島県内のJAの窓口で受け付けられた手形、小切手、振込、公共料金引き落とし、金銭取納などを集中処理しています。JAバンクの業務を陰で支える仕事です。

### 企画管理部

当会の決算や子会社の管理を行うほか、組織としての事業計画の立案や予算配分の決定、社会情勢に合った機構改革などを実施し、組織としての方向性を定める役割を担います。

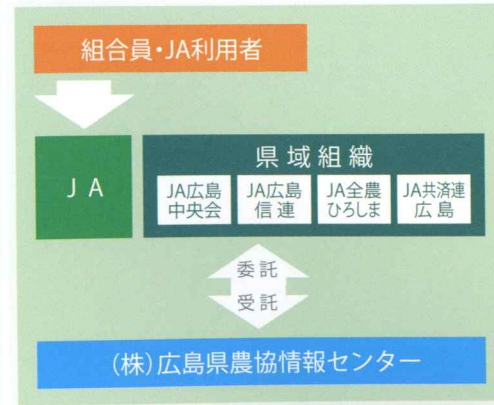
### 監査室

業務ラインから独立した内部監査部署として、他部署が行う業務の適切性や資産の健全性をチェックします。その他、農林水産省検査など外部からの検査・監査の主管部署にもなっています。

## 関連会社

株式会社  
広島県農協情報センター  
広島県東広島市三永二丁目四番十九号

県内JAおよびJAグループ広島の情報処理機能を一元的に開発・管理する業務を通じて、組合員・JAのニーズに迅速かつ正確に対応することを目的とし、昭和63年に設立しました。各組織からの情報処理システムの受託業務や情報処理システムの研究・開発のほか、情報処理システムによる情報提供やソフトウェアの開発も行っています。時代を先取りした機能設備を備えた情報発信基地です。





# 人材育成

約170名という限られた職員数で金融機関の業務すべてを網羅し、会員JAや地域の皆さまに必要な質の高い金融サービスを提供し続けなければなりません。それを推進するのは「人」です。そのため、一人ひとりが「プロフェッショナル」になるための人材育成のしくみが当会にはあります。

私たちは、豊かな知識と創造力、そして行動力をもって、明日の農業やJAバンクの活動をリードしていく人材を求めています。

## 1. 研修制度

### ① 新入職員

新入職員に対する研修制度は、入会前の集合研修により約1週間、主に社会人としての心構えやビジネスマナー、コンピュータや英語、業務に携わるうえでの基本的ルールなどについて学びます。入会後は、先輩職員がインストラクターとして業務知識のみならず、仕事上の疑問や悩みの相談までマンツーマンで指導するシステムが成長をバックアップします。また、半年を経過した頃には、社会人となった自分自身を振り返り、今後の課題と目標を設定するフォローアップ研修を実施しています。

### ② 集合研修

2年目以降も、キャリアや職種に応じた様々な集合研修を行っています。一例をあげると、中堅職員に対しては、キャリア開発研修、選抜方式での中核職員養成研修などもあります。管理職に対しては、各種マネジメント研修など研修体制は充実しており、スキルアップ

できる環境が備わっています。

### ③ 外部研修

外部の教育団体が主催する研修にも積極的に派遣しています。業務知識習得のための研修はもとより、実際に農家を訪問し年間を通じて米作り(荒代かき・手植え・稲刈り)・畑作り(種え付け・収穫などの農作業を行う農業体験研修や欧米や北米、アジアの農業先進地域、海外金融情勢等を視察する海外視察研修などもあります。

### ④ トレーニー制度

金融ビジネスのエキスパートを育てるべく、JAバンクの全国組織である農林中央金庫へのトレーニー制度があります。主に融資業務、証券業務、JAバンク業務の3つがありますが、いずれも最前線で活躍するトレーニー先の職員と肩を並べ業務に携わりながら、実践経験を積むことで専門知識とノウハウを習得することが狙いです。

# 福利厚生

職員がいきいきと、心ゆとりをもって生活できるよう福利厚生制度についても充実しています。全国各地の宿泊施設やスポーツクラブなどが利用できる福利厚生サービスを契約しているほか、独身寮(男女)、家族寮といった住居環境もしっかりサポートしています。また、職員旅行のほか、クラブ活動も盛んで、野球、バドミントン、ボウリング、自転車、テニス、卓球部などがあり、職員の多くが参加し親睦を深めながらリフレッシュしています。これら職員間のコミュニケーションの場が多くあることも、職場のチームワークのよさにつながっています。

## 2. 通信教育制度・資格取得助成制度

研修以外の教育ツールとしては、通信教育があります。こちらにもキャリアや職種に応じて共通教育としての必修講座があり、それぞれのステージでの基礎的な知識を習得します。その他、当会は業務の幅が広く、県内JAの信用事業をサポートする立場にあり、専門性が求められることから、自らが受講したい講座を自主的に受講することも可能です。受講できる講座はローンや有価証券

など業務に関する講座からリーダーシップ・マネジメントといったヒューマンスキル、資格取得のための講座まで実に約150の講座が受講可能です。また、自己啓発を促進すべく、受講費用の一部を負担する助成制度もあります。加えて、各種資格(FP、証券アナリスト、社会保険労務士、中小企業診断士など)を目指す場合も助成制度があり、多くの職員がチャレンジしています。





当会は、JAをはじめ関係団体が会員となり、共に助け合い、発展していくことを理念とした、いわば相互扶助型の協同組織金融機関です。同時に広島県を事業エリアとし、地域経済・地域社会の発展に貢献することを使命とする地域金融機関でもあります。そのため、地域の皆さまへの金融サービスの提供だけでなく、次代を担う子供たちへの支援や食農教育などの教育活動、原爆ドーム保存事業への支援などの文化活動、ごみゼロ・クリーンウォークや森林保全などのボランティア活動への参加、また、各JAで開催されるJA祭りへの参加など、幅広い活動を通じた地域の活性化にも積極的に取り組んでいます。



ひろしまの森林保全フォーラム



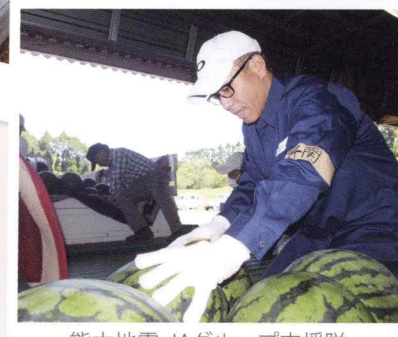
グリーンツーリズム



全日本大学駅伝



児童養護施設 お米の寄贈



熊本地震 JAグループ支援隊



JAとの関係強化 三原やっさ祭



ごみゼロ・クリーンウォーク



ふれあいグラウンド・ゴルフ大会



原爆ドーム保存事業への支援



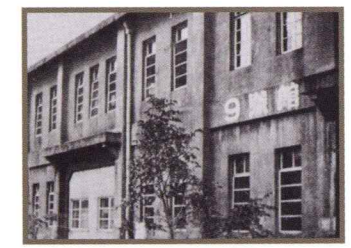
サンフレッチェ広島スポンサードゲーム



広島東洋カープスポンサードゲーム

農業協同組合の歴史は今から100年以上前にさかのぼります。明治33年、農村経済の維持・発展を目指し、農業協同組合の前身である「産業組合」が発足。戦時中に「農業会」と改組されましたが、敗戦により解散。その後、昭和22年の農業協同組合法の制定にもとづき、農業会に代わる農民の経済組織として「農業協同組合」が設立されました。時を同じくして、原爆による荒廃都、広島島の復興未だ緒につき難きころの昭和23年7月、当会が誕生。それから半世紀以上、この地「広島」の復興期から成長期、そして今日までの永きにわたり、JA・地域の皆さまとの「絆」を大切にしながら歩んでいます。

明治 44年 4月	産業組合法による「有限責任広島県信用購買組合联合会」設立
昭和 6年 4月	「有限責任広島県信用購買販売組合联合会」に改組
13年 6月	「保証責任広島県信用購買販売利用組合联合会」に改組
19年 1月	農業団体法により「広島県農業会」に改組(昭和23年8月解散)
23年 7月	広島県信用農業協同組合連合会を農業協同組合法に基づき設立
41年 7月	内国為替の取扱いを開始
46年 11月	信連貯金が1,000億円を達成
48年 10月	信連業務のオンライン・システムが稼働
54年 2月	全国銀行内国為替制度へ加盟
56年 12月	信連貯金が5,000億円を達成
60年 3月	全国農協貯金ネットサービスの取扱いを開始
63年 11月	信連貯金が1兆円を達成
12月	(株)広島県農協情報センターを設立
平成 元年 10月	広島県信用事業情報システム(農協・信連)が稼働
2年 7月	全国キャッシュサービスの取扱いを開始
4年 4月	農協の愛称に「JA」を採用
7年 4月	信連貯金が1兆5,000億円を達成
10年 4月	信用事業の名称を「JAバンク」へ変更
12年 5月	郵便貯金とCD・ATMでオンライン提携
10月	「デビットカード」サービスの取扱いを開始
13年 3月	JAダイレクトバンキングの取扱いを開始
16年 1月	マルチペイメント・ネットワークサービスの取扱いを開始
7月	「ひろしまネットサービス」を開始し県内金融機関間(一部を除く)のATM手数料を無料化
17年 11月	セブン銀行とATMで利用提携
19年 5月	郵貯・セブン銀行とATM入金提携開始
20年 7月	JAバンクのATM顧客手数料を全国一律無料化
25年 11月	ローソンATM・イーネットATM(ファミリーマート・ポプラ等)との提携開始
26年 10月	法人JAネットバンクの取扱いを開始
27年 5月	JAバンクでんさいサービスの取扱いを開始
12月	信連貯金が2兆円を達成





# 実りある 未来への 責任。

皆さんがこれから旅立っていく社会は、まさに激動の時代です。中でも食糧生産の問題は、大きな社会問題となっています。

「地産地消」という言葉を、きつと耳にしたことがあると思います。あなたや、あなたの家族が口にする食べ物の安全を守るため、これから地域農業が担う役割は大きくなっていきます。

私たちJA広島信連は、その農業を支える金融機関です。私たちの責任も、これまで以上に大きくなっていきます。

10年後、20年後の広島を、少し想像してみてください。たくさんの人達が、今と変わらず健康で楽しそうに暮らしを送っているでしょうか？

たくさんさんの笑顔を支えている「食」の問題は解決しているでしょうか？

あなたがJA広島信連に入会していたら、そんな豊かな未来をしっかりと支える力になってくれることでしょうか？

JA広島信連に入会するということは、未来に責任を担うということです。

たくさんさんの仲間たちと、その責任の一端を担ってみませんか。私たちはあなたのやる気を待っています。







広島県信用農業協同組合連合会

広島市中区大手町四丁目6番1号

Tel (082) 248-9554

<http://www.jabankhiroshima.or.jp/jahiroshima>



# J A 広島信連の概要

1. 正式名称 広島県信用農業協同組合連合会
2. 設立 昭和23年7月
3. 代表者 代表理事理事長 梶田 隆仁
4. 事業内容 金融業務全般及び県内JAに対する金融・経営コンサルティング
5. 出資金 802億円（平成30年3月末時点）
6. 職員数 178名（男性108名、女性70名）  
（平成30年10月現在）
7. 本所所在地 広島市中区大手町四丁目6番1号
8. 主要勘定等 (単位：百万円、%)

	29年3月末	30年3月末
貯金	2,106,351	2,243,903
貸出金	75,091	76,376
預け金	1,429,193	1,505,380
有価証券	703,610	763,888
自己資本比率	21.76	21.12

詳しくはJA広島信連HP内のディスクロージャー誌(2018年版)をご確認ください。

URL <http://www.jabankhiroshima.or.jp/jahiroshima/>

9. 関連会社 株式会社 広島県農協情報センター  
(住所：広島県東広島市三永二丁目4番19号)